

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成30年7月24日

施設名	高知県立土佐西南大規模公園 (中村地区)	所管課	土木部 公園下水道課
-----	-------------------------	-----	---------------

1 施設の概要

指定管理者名	公益財団法人 四万十市公園管理公社	指定期間	平成27年4月1日 ~ 平成32年3月31日
施設所在地	高知県四万十市下田ほか		
事業内容	1. 施設の運営に関する業務 (1)施設等の利用に関する業務 (2)施設等の利用料金の徴収 2. 施設等の維持管理に関する業務 (1)施設等保守管理業務 (2)清掃業務 (3)植栽管理業務 (4)運動施設管理業務 (5)警備業務 3. 公園全般に係るその他の業務 (1)公園の利用案内 (2)利用促進のための企画等の実施 (3)周辺市町村・団体等との協力、連携 (4)県民やボランティア等との協働事業の推進 (5)公園に関する情報の提供 (6)公園に関する要望及び苦情の処理 (7)緊急対応体制の確立 4. 物品の管理		
施設内容	【公園全体】 面積:115.9ha (うち管理区域 34.6ha) 【オートキャンプ場】 約300人収容 テントサイト47区画(1回4,100円)、テングローサイト5区画(1回4,600円)、 キャンプサイト22棟(1回10,300円)、総合管理棟1棟、多目的棟1棟、炊飯棟3棟、バーベ キューサイト1棟 【遊戯施設】 展望広場、わんぱく広場、サンサンパークエリア、てづくり・いなかエリア 【運動施設】 ソフトボール場1面、テニスコート2面 【シャワー施設】 管理棟・サニタリー棟:男女各3室 (1回100円) 洗濯機(1回200円)、 乾燥機(1回100円)、 双海駐車場・平野駐車場:共同4室 開園時間:オートキャンプ場(15:00~翌日13:00,10:00~16:00) 多目的棟・付属設備(8:30~17:00) 休園日:無休		
職員体制	常勤職員: 3人	非常勤職員: 9人	合計: 12人

「職員数は平成30年4月1日現在」

2 収支の状況

単位:千円

		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
収入	県支出金	8,900	8,900	9,500
	使用料・手数料	35,143	33,834	34,353
	その他	444	534	696
	収入計 (a)	44,487	43,268	44,549
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	14,222	13,668	13,113
	人件費	26,883	28,231	29,072
	その他	2,333	2,268	2,364
	支出計 (b)	43,438	44,167	44,549
収支差額 (a)-(b)		1,049	△899	0

3 利用状況

	平成28年度(実績)	平成29年度(実績)	平成30年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	16,434	16,700	16,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 宿泊者にチェックイン時にアンケート用紙を配布し、チェックアウト時の回収を継続的に実施している。回答者にはプレゼントを進呈し、より多くの利用者から意見を収集するための工夫ができています。また、プレゼントの内容も定期的に見直している。		
	○ 利用者意見等を踏まえた対策 おもちゃコーナーの商品を季節ごとに入れ替えるなど、売店での販売物の見直しを行い収益のアップにつなげている。 エアポンプの無料貸出や、キャビンのテラスにライト取付用フックを設置するなど、小さな不便を解消することで利用満足度向上に努めている。		
	○ その他		
③その他特記事項			

4 平成29年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	協定書、仕様書及び事業計画に基づく適正な運営管理が実施されている。施設の維持管理について、整備や修繕の必要性を県へ提案する等前向きに取り組んでいる。 遊具の点検講習への継続的な参加及び火災時の避難訓練等にも取り組み、利用者の安全性の確保に努めている。 また、地元の団体との連携により、イベント時の「とまろっと」への宿泊客の誘致やボランティアによる清掃活動、地元ボランティア団体と連携して地元の小学校に体験学習の場を提供している。 利用者への情報提供では、ホームページでとまろっとの予約状況を随時公開する他、ブログで公園内で実施したイベントの記録を更新しており、評価できる。
②利用者サービスの維持向上	事業計画に基づいて適正に行われた。 宿泊客にアンケートを実施し、利用状況を分析するとともに、利用者の感想や要望を把握し対応策を検討するなど、利用者の満足度の向上に努めている。 特に苦情が多く寄せられた案件は迅速に修繕等を実施するとともに、収支の剰余金を活用し修繕を行っている。また、大規模修繕が必要な場合は、県との協議の場を利用者の意見を反映させている。
③利用実績	晴天に恵まれた昨年度に比べ、利用の多い夏から秋にかけて台風が数回接近したことにより、オートキャンプ場の施設全体の利用者数は前年度比100.8%であるが、11月以降の閑散期の利用が増加し、利用者数は前年度比117.1%と増加している。
④収支の状況	利用の多い夏から秋にかけて台風が数回接近したことにより、利用料収入は前年度比95.4%となり、899,374円の赤字となっている。
総合評価	A 協定書及び事業計画に基づき管理運営業務が適正に実施されるとともに、増加した利用料収入で当初計画以上に修繕を実施するなど、きめ細かなメンテナンスを心がけ、利用者にとって安全で快適な施設として管理運営がされたと認められる。 利用者アンケートの回答からは、また利用したいとの回答が多く、利用者から高い評価を得ていることも利用者の増加につながっているものと考えている。 天候により利用者数が大きく左右される環境にあるが、利用者の増加やリピーターの獲得に取り組んでいただきたい。

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの